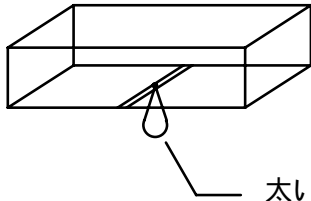


## JSCA 新潟主催「構造模型」コンテストの報告

### ・ 開催要項

1. 日 時 平成 22 年 9 月 18 日 (土) 午前 8 : 30 ~ 午後 16 : 30
2. 会 場 新潟大学 工学部 107 講義室 (西門よりアクセス)
3. 内 容  
制限時間内に決められた材料で決められたスパン間を渡す「構造模型」(形は自由)を製作してもらい、载荷実験を行う中で「力強さ」と「美しさ」を競い合います。
4. タイムテーブル
  - (1) 受 付 - - - - - 8 : 30 ~ 9 : 00
  - (2) 開会式 - - - - - 9 : 00 ~ 9 : 30
  - (3) 製作作業 - - - - - 9 : 30 ~ 12 : 30
  - (4) 昼食休憩 - - - - - 12 : 30 ~ 13 : 30
  - (5) プレゼンテーション - - 13 : 30 ~ 16 : 00  
    载荷試験
  - (6) 表彰、閉会式 - - - - 16 : 00 ~ 16 : 30
5. 参加予定チーム  
社会人、新潟職業能力開発短期大学校、新潟大学、長岡造形大学、新潟工科大学  
(1 チーム 2 ~ 4 人程度とします)
6. 製作、発表について  
当日は構造物の製作作業のみを行い、製作時間内 (3 時間) に構造物を完成させて下さい。1 チーム 2 個まで製作可とします。(载荷も 2 個まで可)  
プレゼンテーションはコンセプト、予想破壊荷重、想定破壊箇所の報告を 1 チーム 5 分以内で行っていただきます。(報告形式は自由、PC 使用可 (PowerPoint 2002 より上位の場合は PC を持参すること))
7. 使用材料 (支給)
  - ・ 断面 3mm × 3mm、長さ 900mm のヒノキ材・・・6 本
  - ・ タコ糸(6 号 : 太さ 1mm 程度)・・・550m のロール 1 本
8. 製作条件
  - ・ ヒノキ材、タコ糸を使用し、40 ~ 70 cm のスパンに架かる構造物とする。(正式な実施スパンは大会当日に発表します)

- ・ 構造物の形、材料の使用方法についての制限は無く、部材の接合はタコ糸で縛ることで行う。(ただしヒノキ材を束ねただけの物は不可とします。又ボンド等の接着剤の使用は禁止します。)
- ・ 載荷試験はスパン中央からフックで重りを吊るすことで行うので、フックが掛けられる輪をタコ糸で構造物下部中央に1箇所設ける。(重りはこちらで用意します)



太いたコ糸（支給）で載荷用の輪を作ってください。

参加チーム（11チーム）

Team NSK ((株)NSK 建築構造研究所)

Ken ((株)建構造研究所)

SKY (新潟職業能力開発短期大学校)

住環 A (新潟職業能力開発短期大学校)

住環 B (新潟職業能力開発短期大学校)

N.J.NAKAMURA (新潟大学)

チーム D (新潟大学)

ザ・コンクリーツ (新潟大学)

長岡造形大学大学院 (長岡造形大学)

ミスター・ポポ (新潟工科大学)

パイカーハン (新潟工科大学)

## ・ 開会式



受付



メイン会場(107講義室)



JSCA 新潟吉田副代表の開会挨拶



岩野実行委員長のルール説明



司会 長橋氏

## ・ 製作風景



製作会場 1 ( 105 講義室 )



Team NSK((株)NSK 建築構造研究所)



Ken ((株)建構造研究所)



SKY (新潟職業能力開発短期大学校)



住環 A(新潟職業能力開発短期大学校)



住環 B(新潟職業能力開発短期大学校)



N.J.NAKAMURA (新潟大学)



チーム D (新潟大学)



ザ・コンクリーツ (新潟大学)



長岡造形大学大学院  
(長岡造形大学)



ミスター・ポポ (新潟工  
科大学)



パイカーハン (新潟工科  
大学)

## 作品完成



Team NSK A  
((株)NSK 建築構造研究  
所) 1位 (7172g)



Team NSK B  
((株)NSK 建築構造研究  
所) 15位 (1293g)



Ken A ((株)建構造研究  
所) 9位 (2586g)



Ken B ((株)建構造研究  
所) 4位 (4741g)



SKY A (新潟職業能力  
開発短期大学校) 2位  
(6534g) JSCA 特別賞



SKY B (新潟職業能力  
開発短期大学校)





住環 A(新潟職業能力開発短期大学校) 15位 (1293g)



住環 B(新潟職業能力開発短期大学校)



ミスター・ポポ (新潟工科大学) 4位 (4741g)



N.J.NAKAMURA A (新潟大学) 14位 (1418g)



N.J.NAKAMURA B (新潟大学) 8位 (2780g)



チーム D A (新潟大学) 10位 (2155g)



チーム D B (新潟大学) 12位 (1724g)



ザ・コンクリーツ A (新潟大学) 12位 (1724g)



ザ・コンクリーツ B (新潟大学) 6位 (3767g)



長岡造形大学大学院 A (長岡造形大学) 17位 (885g) 美観賞



長岡造形大学大学院 B (長岡造形大学) 3位 (6034g)



パイカーハン A (新潟工科大学) 7位 (3267g)



パイカーハン B (新潟  
工科大学)

## ・ 載荷風景



加力前のプレゼンテーシ  
ョン



観客



加力 ( 3 体並列での加力 )

## ・ 表彰式



1 位 Team NSK A  
( (株) NSK 建築構造研究  
所 ) のあいさつ



1 位賞品の授与



2 位 SKY A (新潟職業  
能力開発短期大学校)



3位 長岡造形大学大学院 B (長岡造形大学)



美観賞 長岡造形大学大学院 A (長岡造形大学)



JSCA 特別賞 SKY A (新潟職業能力開発短期大学校)



吉田 JSCA 新潟副代表の講評



梶井 JSCA 新潟代表の閉会の挨拶